公益財団法人ちばのＷＡ地域づくり基金
2013 年度　事業報告

（2013 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日）

【2013 年度概要と成果】

2013 年度は、公益財団法人初年度として、本格的に事業を稼働させ、財団の中核事業である「事業指定助成プログラム」を中心に助成事業を開始した。また、冠基金では、第 1 号となる「生活クラブ虹の街エッコロ福祉基金」を実施した。チャリティプログラムの企画実施では、カンパイチャリティキャンペーン、チャリティパーティーを実施した。企業訪問は 10 社にとどまり、当財団の事業内容や仕組みについての説明を主に行い、寄付つき商品の提案等はできなかった。

助成プログラムの実施により、多くのＮＰＯと良好な関係性をつくることができた。メディアにも多く取り上げられたことで、一般市民へのアピールにつながった。

次年度は、積極的に企業訪問や提案を行い、助成プログラムを増やすことでさらに認知度を上げ、地域内資金循環を促進させたい。

■２０１３年度の主な活動

○4 月１日付け公益認定を受け、公益財団法人に

--7 月には、PST 要件（※）をクリアし、税額控除認定を受けた。

※PST（パブリックサポートテスト）要件とは、公益法人のうち、個人からの寄付金について税額控除制度が適用される対象法人になるために必要な要件。

○事業指定助成プログラム寄付募集活動実施

--第 1 期 7 事業　寄付総額：2,629,170 円。

○冠ファンド「生活クラブ虹の街エッコロ福祉基金」実施

--30 件の応募の中から 7 団体に助成、総額 200 万円。

○カンパイチャリティキャンペーン・チャリティパーティー実施

--カンパイチャリティでは予想を上回る 22 店舗が参加。メディアにも取り上げられる。

--100 名規模のチャリティパーティー開催。

＊2013 年度の受入寄付額：4,629,170 円　　累積寄付総額　10,373,045 円に！

【公益目的事業：公益活動支援助成事業】

１．事業指定助成プログラム

事業計画に基づき、第 1 期の助成先の募集、決定、寄付募集と第 2 期の助成先の募集、決定を行った。本プログラムは、公募・審査を経て採択された市民公益活動団体（ＮＰＯ）と財団が一緒になって寄付を集める資金調達サポートプログラムであり、当財団は、ホームページ内に専用ページの設置、寄付カタログの提供、集合研修等による寄付獲得プランづくり、チャリティプログラムの企画・実施等を行い、寄付募集だけではなくＮＰＯの組織基盤強化や信頼性の構築につなげることができた。

■第 1 期

・申請受付期間：2013 年 4 月 15 日～5 月 20 日
・申請件数：12 事業
・採択件数：8 事業　※1 事業については採択後、辞退
・寄付募集期間：2013 年 7 月 1 日～2014 年 3 月 31 日
・寄付募集目標総額：4,500,000 円
・寄付総額：2,629,170 円（達成率 58.4%）
・選考会開催概要：

開催日：2013 年 5 月 28 日（火）
会場：ホテルメイプルイン幕張
出席者（選考委員・五十音順・敬称略）

関谷　昇（公益財団法人ちばのＷＡ地域づくり基金　理事長）＊議長
戸谷　久子（千葉県国民健康保険団体連合会　常務理事）
萩原　博（千葉日報社　代表取締役社長）
畑山　文恵（特定非営利活動法人浦安まちづくりネット　副理事長）
藤田　とし子（まちとひと感動のデザイン研究所　代表）
松本　武（特定非営利活動法人ＮＰＯテクノサポート　理事長）

選考方法

12 件の申請事業について、助成趣旨及び選考基準に沿って、申請書類と「公益ポータルサイトちばのＷＡ！」に開示されている団体基本情報および、事前ヒアリングでの補足情報をもとに申請事業ごとに選考を行った。

選考基準

①事業指定助成の趣旨と条件に合致しているか
②地域社会のニーズや課題を的確にふまえたうえで公益性の高い事業であり、具体的な成果が期待できるか

③目的、事業計画、事業予算、事業成果、実現可能性が明確で妥当なものかどうか

④地域社会に情報が発信されている（発信することができる）かどうか

⑤寄付募集を通じて事業の展開、発展に寄与するか

採択結果

12 件の申請事業のうち、8 件を採択、4 件は不採択とした。採択された事業のうち 1 件について、申請団体からの辞退の申し出があり、受理した。

採択された事業はいずれも地域社会のニーズに沿った公益性の高い事業であり、寄付募集を通じて事業の発展が期待できるとして採択した。

・助成先/寄付総額：

病気と向き合う子どもが笑顔になる贈り物事業（ＮＰＯ法人子ども劇場千葉県センター）

／272,019 円

長作に「明日の種」をまく～障がい者と地域の人々をつなぐ畑再生プロジェクト～

（企業組合あしたね　障害福祉サービス事業所「明日の種」）／86,464 円

児童養護施設を退所する子どもたちの自立を支える「はばたき基金」（はぐくみの杜を支える会）

／1,740,798 円

外国人の子どもたちの学びを支援する事業（認定ＮＰＯ法人外国人の子どものための勉強会）

／278,165 円

電話でつながるこころの居場所チャイルドライン千葉（ＮＰＯ法人子ども劇場千葉県センター）

／155,774 円

印旛沼イメージソング「HomeTown」プロジェクト写真コンテスト開催事業

（印旛沼イメージソング「HomeTown」プロジェクト実行委員会）／22,600 円

谷津田再生と湧き水・周辺山林整備で「いい場所づくり」（ＮＰＯ法人バランス 21）

／73,350 円

■第 2 期

・エントリーシート受付：2013 年 12 月 16 日～2014 年 1 月 15 日（事業概要公開プレゼン 2 月 1 日）

・申請受付期間：2014 年 2 月 1 日～2 月 28 日

・申請件数：10 事業

・採択件数：5 事業（第 1 期継続 4 事業／新規 1 事業）

・寄付募集期間：2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日

・寄付募集目標総額：3,108,000 円

・選考会概要：

開催日：2014 年 3 月 15 日（土）

会場：ホテルメイプルイン幕張

出席者（選考委員・五十音順・敬称略）

始関　信夫（株式会社ビリーブ　代表取締役・市原ロータリークラブ）

関谷　昇（公益財団法人ちばのＷＡ地域づくり基金　理事長）＊議長

戸谷　久子（千葉県国民健康保険団体連合会　常務理事）

萩原　博（千葉日報社　代表取締役）

畑山　文恵（特定非営利活動法人浦安まちづくりネット　副理事長）

松本　武（特定非営利活動法人ＮＰＯテクノサポート　理事長）

選考方法

10 件の申請事業について、助成趣旨及び選考基準に沿って、申請書類と「公益ポータルサイトちばのＷＡ！」に開示されている団体基本情報、プレゼンテーション及び質疑をもとに絶対評価で選考を行った。

選考基準

①事業指定助成の趣旨と条件に合致しているか

②公益性・地域社会のニーズがあるか

③事業計画や成果目標が具体的で実現可能性が明確で妥当なものか

④寄付募集活動を通じて事業の必要性や成果を地域社会へ発信できるか

⑤事業の継続・発展性が見込めるか

採択結果

10 件の申請事業のうち、継続 4 件、新規 1 件の 5 件を採択した。寄付を募っていくにあたって理解と共感が得られる「事業性」、および何に対して寄付を募ることでどのような成果が得られるのかという「明確性」の点での採択となった。

・助成先：

アレルギーを持つ親子が安心して外食できる「ノンアレカフェ」開催事業

（ＮＰＯ法人千葉アレルギーネットワーク）

病気と向き合う子どもが笑顔になる贈り物事業　（ＮＰＯ法人子ども劇場千葉県センター）

長作に「明日の種」をまく畑再生プロジェクト 2014

（企業組合あしたね　障害福祉サービス事業所「明日の種」）

児童養護施設を退所する子どもたちの自立を支える「はばたき基金」（はぐくみの杜を支える会）

外国人の子どもたちの学びを支援する事業（認定ＮＰＯ法人外国人の子どものための勉強会）

＊寄付募集期間：2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日

2013 年度　事業指定寄付目標額：750 万円

寄付実績：2,629,170 円

■助成団体の自発性を促すためのプログラム

・採択した団体と当財団理事による集合研修を開催した。

・寄付募集と事業実施の行動計画の立案として「アクションプランシート」を作成し、サポート、アドバイスを行った。

・アクションプランシートをもとにしたフォローアップを全団体に対し行った。

・寄付者情報を定期的に助成団体に提供し、寄付者に対する報告（礼状や会報）の作成サポートを行った。

■寄付金調達アクション

・事業指定寄付カタログの作成と配布

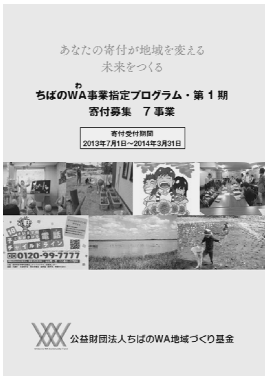
具体的な寄付方法と寄付先を見せるツールとして作成し、配布した。

2013 年 7 月 3,500 部発行、フルカラーA 5 サイズ 16 ページ

・事業指定専用ウェブページ作成とソーシャル・メディアの活用による情報発信

ホームページ内に各事業専用のページを設け、寄付申込、クレジットカード決済機能を導入した。ブログ、Facebook、Twitter を併用し、寄付金額の進捗や寄付者からのメッセージ、事業の進捗等、随時更新を行った。

・後述のカンパイチャリティキャンペーン、チャリティパーティー、イベント出展による募金活動により、各事業への寄付を受け付けた。



２．テーマ・地域型助成プログラムによる基金設置と助成

2013 年度は､テーマ型基金の設置を検討し､｢子ども｣をテーマにした基金を設置することとした。

様々な困難や疎外感を抱えて生きている子どもの問題は複雑多様化し、制度だけでは支援が行き届かない状況である。それらを地域全体で支え、未来を担う子どもたちが健やかに育つ地域社会づくりを目的に次年度より実施する。

2013 年度　目標：3 プログラム　400 万円 実績：1 プログラム「子どもの育ち環境を守る（仮）」設置

３．冠基金による助成・褒賞プログラム

2013 年度は 1 件の冠基金の運営を行った。

(1)「生活クラブ虹の街エッコロ福祉基金」（寄付者：生活クラブ生活協同組合千葉）

高齢者、障がい者、子どもをテーマにした事業、調査・研究に助成する「生活クラブ虹の街エッコロ福祉基金」を 9 月に設置した。

急激に進行する少子高齢社会において、人々が安心して地域の中で暮らし続けていくために、生活協同組合や地域のＮＰＯが行う先駆的な活動を支援していくことを目的としている。

・募集説明会：5 ヵ所開催（千葉・松戸・佐倉・蘇我・山武）36 団体 65 名参加
・申請受付期間：2013 年 11 月 1 日～11 月 20 日
・助成総額：200 万円（1 件あたり 30 万円上限）
・申請件数：30 件（高齢者 7 件/障がい者 8 件/子ども 13 件/子ども・高齢者 1 件/高齢者・障がい者 1 件）
・採択件数：7 件
・選考会概要：

第一次選考会開催日：2014 年 1 月 18 日（土）

会場：生活クラブ生協本部ホール

公開プレゼンテーション・第二次選考会開催日：2 月 22 日（土）

会場：千葉市生涯学習センター大研修室

出席者（選考委員・五十音順・敬称略）

北原　理雄（千葉大学名誉教授）
小松　孝之（ちばぎん総合研究所　受託調査部長）＊議長
篠塚　泉（千葉テレビ放送取締役編成局長）
庄　妙子（生活クラブ生協）
岩上　章子（生活クラブ生協）
山本　百合（生活クラブ生協）

選考方法

申請件数が多かったため第一次選考会を開催した。選考会では、本基金募集要項においてあらかじめ定めた評価項目及び配点に従って、応募団体から提出された申請書類と質問に対する回答により審査をした。審査の結果、30 件中 17 件が公開プレゼンテーションに進んだ。

第二次選考会では、17 団体による公開プレゼンテーション及び応募団体への質疑をもとに厳正なる審査を行い、助成団体 7 団体を決定した。

選考基準

①公益性があり、地域社会のニーズがあるか
②事業内容が具体的かつ妥当であり、責任をもって事業を推進・完了できるか

③収支計画と事業内容のバランスがとれていて、適切であるか

④人的資源があり、周囲からの協力や連携が見込めるか

⑤事業終了時点での成果が見込めるか

⑥事業の継続・発展が期待できるか

選考結果

選考委員会では、各団体が取り組んでいる活動の意義を尊重しながらも、提案されている「事業」それ自体に着目し、その組み立て方、実現可能性、成果への期待度などを多角的に評価した。採択された 7 事業については、特に地域のニーズ、実行性、継続発展性において優れた計画であり、地域や他団体と連携した事業実施による成果が期待できるものである。

・助成先：

ＮＰＯ法人おやこカフェ（千葉市）「ちいさな翼プロジェクト」

劇団人の森ケチャップ（松戸市）「第 12 回公演『走れ！音楽列車～うたごえは七色のけむり～』」

ＮＰＯ法人障害児・者エンジョイサポートぶるーむ（柏市）

「障がい児トーンチャイムサークルの楽器購入」

ＮＰＯ法人みんなの広場・風（我孫子市）「キッチンスペースの環境整備事業」

ＮＰＯ法人ちば MD エコネット（船橋市）

「映像で伝える～障がい者の働く姿とユニバーサル就労の可能性～」

ＮＰＯ法人たからばこ（南房総市）

「地域で広げよう子育ての輪！～気になる子、そして全ての子を温かく支え育む地域づくり事業～」

ＮＰＯ法人ＮＰＯ Ｂ-Ｎｅｔ子どもセンター（酒々井町）「Ｂ-Ｎｅｔ子ども教室アッタくん」

2013 年度　目標：2 件　250 万円 実績：1 件「生活クラブ虹の街エッコロ福祉基金」200 万円

４．チャリティプログラムの開発と実施

事業計画に基づき、事業指定助成プログラム 7 事業への資金調達を中心に、カンパイチャリティキャンペーン、チャリティパーティー、イベントへの出展を行った。

（1） カンパイチャリティキャンペーン

目的である「従業員やお客様による、地域課題とそれに対応する市民活動への理解促進」という部分では、参加店舗数が 22 店舗と想定（10～15 店舗）より多かったこと、新聞、テレビの取材、広報活動などから、市民の関心を広げるきっかけになったと思われる。地元飲食業の売り上げ増加という点では確認できていない。

・概要：参加店舗でカンパイチャリティメニューを提供、メニュー1 品注文につき、予め店舗ごとに設定した金額が選択した事業に寄付される。寄付先は、事業指定寄付先の中から店舗が選択した。
・期間：10 月 1 日～11 月 15 日
・参加店舗数：22 店舗（千葉中央、幕張本郷、西千葉、柏）
・寄付先：事業指定助成団体（店舗選択）6 事業
・広報：チラシ 14,000 部配布（店舗エリア・最寄駅街頭配布、ポスティング等）、店内 POP、
　　ホームページ、ソーシャル・メディア
・寄付総額：129,135 円
・期間中のメディア掲載：東京新聞、千葉日報、千葉テレビ

（2）チャリティパーティー

市民が楽しみながら寄付ができる機会を提供し、事業指定寄付先となる団体と寄付者が直接コミュニケーションをとれる場として開催した。

■「ちばのＷＡ地域づくり基金チャリティパーティー
～まちの未来を奏でる～ポップクラッシック×間伐材スピーカーとともに」

・開催日時：2014 年 1 月 19 日（日）：17～20 時
・場所：ホテルメイプルイン幕張（千葉市花見川区幕張本郷 1-12-1）
・参加者：99 名　・チケット代：5,000 円（寄付つき）
・内容：バイオリン&コントラバス演奏（vallote）、間伐材スピーカーお披露目、事業指定 7 事業アピール、ラッフル（抽選会）
・協賛：11 社（順不同・敬称略）イタリア食堂キャプテンズクック、株式会社ＦＭマネジメント、キリンビール株式会社千葉支社、コカ・コーライーストジャパン株式会社、生活クラブ生活協同組合千葉、株式会社高千穂ネットワーク、株式会社ディストル・ミュージックエンターテイメント、社会福祉法人パルネット、雅セレモニーホール、ソーケングループ、ホテルメイプルイン幕張、他個人
・寄付額：142,270 円

【参加者からのメッセージ】

「いろんな人と出会えて楽しかった」「団体の想いが伝わってきた」

【団体からのメッセージ】

「コンサートや抽選など、イベントが用意されていたのはとてもよかった」「寄付者や応援者の顔が見えて、またがんばろうという元気が出た」「初めてお会いする方には積極的に話しかけるのは難しい」

（３）イベントでのブース出展

県内で開催されるイベントに参加し、財団事業と事業指定寄付先のアピール実施とチャリティドリンク（カムカムドリンク　販売元：メルカード東京農大）の販売を行った。一般市民が来場するイベントでのアピールはできたと思われる。ちば市民活力創造フェアでは、出展している市民活動団体に事業指定プログラムの説明ができた。

・参加イベント：①アグリ&アートフェス・佐倉城址公園（9/22）
②ユニバーサル農業フェスタ・佐倉市御伊勢公園（9/28）
③ユニバーサル農業フェスタ・四街道市文化センター（10/26）
④ユニバーサル農業フェスタ・ホテルメイプルイン幕張（11/9）
⑤ちば市民活力創造フェア・きぼーる（11/16～17）
※山武市市民活動フェスタ（2/9）は大雪のため出展できなかった

・方法：チャリティドリンク 1 本 200 円（内 100 円が寄付）で販売し、購入者に応援したい事業を選んでもらった。同時に募金箱を設置し、募金も呼びかけた。

・寄付総額：29,290 円

（４）募金箱・寄付機能つき自動販売機

募金箱は、イベント出展時に持参したほか、事業指定助成団体が自団体の事業専用募金箱を主体的に設置した。

寄付機能付き自動販売機は、昨年度から引き続き船橋市の雑貨店「くらうど」に設置。寄付金ははぐくみの杜を支える会（事業指定寄付先）を指定している。

袖ケ浦市のスーパー「のぞみのマルシェ」に設置している寄付機能付き自動販売機の寄付金が、4月より財団運営に指定となった。

2013 年度　目標：100 万円
実績：300,695 円
＊カンパイチャリティ　129,135 円
＊チャリティパーティー　142,270 円
＊募金箱　29,290 円
＊寄付機能付き自動販売機設置　2 台

５．物品仲介事業

6 件の提供があり、内 2 件について引き渡しを行った。

個人や団体からの物品の提供があり、NPO 法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブが管理する「ちば NPO 情報館」登録団体へ、仲介を行った。提供情報については、ウェブサイトにも掲載し、進捗や報告を公開している。

2013 年度　目標件数：10 件
実績：提供件数：6 件（個人 4 件、企業 1 件、団体 1 件）
引き渡し数：2 件（木のおもちゃ、エレクトーン）

６．情報発信・啓発

・財団の事業や仕組みについて発信するためのリーフレットを 5,000 部作成した。県内市民活動支援センター、役員、寄付者、支援者、企業訪問・イベント等で配布した。

作成にあたり、企業 5 社に協力いただき、メッセージと寄付をいただいた。5 社については以下の通り。

コカ・コーライーストジャパン株式会社、大里綜合管理株式会社、株式会社ＦＭマネジメント、株式会社千葉薬品、千葉テレビ放送株式会社

・ホームページや Facebook、ツイッターを活用し、事業の進捗や募集情報、活動報告を随時行った。

・メールマガジンの発行はできなかった。

７．寄付者開拓（マーケティング）

・寄付や基金設置の可能性のある企業のリストアップやアプローチするための情報収集等、本年度は具体的なマーケティングの実施には至らなかった。

・経済団体主催のシンポジウム等にて財団事業の紹介を行った。

6 月 8 日　青年会議所千葉ブロック大会 in 松戸（関谷）

6 月 14 日　千葉県中小企業家同友会　同友会大学講演会（関谷）

7 月 17 日　千葉県中小企業家同友会白井・鎌ヶ谷支部シンポジウム（関谷）

・当財団の目的及び理念を広くＰＲするため、企業訪問を実施した。

【訪問先】

株式会社ちばぎん総合研究所（千葉市）、懐石料亭淡粋（市原市）、株式会社上野工業所（市原市）、千葉都市モノレール（千葉市）、株式会社バジル（千葉市）、株式会社ＣＭＳ（千葉市）、有限会社稗田綜合建築設計事務所（山武市）、株式会社オニオン新聞社（千葉市）、株式会社ランドトラスト（千葉市）、株式会社高千穂ネットワーク（佐倉市）

８．その他

（１）大学との連携

・10 月 3 日　神田外語大学演習クラスにて、財団の紹介を行った。（志村出席）

・12 月 11 日　千葉工業大学院の授業にて「ＮＰＯの現状と財団の役割について」紹介した。

（牧野、志村出席）

・1 月 16 日　神田外語大学演習クラス学生による提案を受ける。

「ちばのＷＡを知ってもらい、学生が寄付に参加できるしくみ」（松田、牧野、志村出席）

（２）他との連携

・公益財団法人京都地域創造基金の集合研修（内閣府ノウハウ移転連携事業）等に参加し、全国 10 地域の市民コミュニティ財団と社会的意義やノウハウの情報共有、連携を行った。

10 月 29 日～30 日　京都（牧野・志村出席）

1 月 14 日～15 日　岡山　（牧野・志村出席）

2 月 26 日～27 日　福島（鍋嶋・志村出席）

3 月 30 日　　京都地域創造基金 5 周年イベント（志村出席）

（３）助成褒賞選考委員会

・当財団が行う助成事業及び褒賞事業において、公益性の維持、確保及び支援団体の選定を円滑に行うために、助成褒賞選考委員会を設置した。委員は以下の通り。（敬称略　五十音順）

上田　麻希（香りのアーティスト）

北原　理雄（千葉大学名誉教授・工学博士）

小松　孝之（株式会社ちばぎん総合研究所受託調査部長）

椎川　忍（総務省地域力創造アドバイザー・内閣官房地域活性化伝道師）

始関　信夫（市原ロータリークラブ・ビリーブ株式会社代表取締役）

篠塚　泉（千葉テレビ放送株式会社取締役編成局長）

庄　妙子（生活クラブ生活協同組合理事）

関本　征四郎（特定非営利活動法人ＡＣＯＢＡ顧問・理事）

関谷　昇（公益財団法人ちばのＷＡ地域づくり基金理事長・千葉大学法経学部准教授）

戸谷　久子（千葉県国民健康保険団体連合会　常務理事）

萩原　博（千葉日報社代表取締役）

畑山　文恵（特定非営利活動法人浦安まちづくりネット副理事長）

藤田　とし子（まちひと感動のデザイン研究所代表）

松本　武（特定非営利活動法人ＮＰＯテクノサポート理事長）

（４）メディア掲載実績

☆ＮＨＫ「首都圏ネットワーク」：6 月 10 日放送「寄付で支える市民活動」

https://www.youtube.com/watch?v=_LOl12YXne8&feature=youtu.be

☆千葉日報：9 月 7 日付朝刊「使い道選択して寄付　本年度、対象 7 団体決まる」

☆千葉テレビ放送「ＮＥＷＳチバ」：11 月 7 日放送「カンパイでチャリティ！？」

https://www.youtube.com/watch?v=4PeRyc5oNPY

☆東京新聞：11 月 10 日付朝刊「地域貢献へみんなでカンパイ！」

☆千葉日報：11 月 10 日付朝刊「飲食代の一部が寄付金に　ちばのＷＡ地域づくり基金、千葉市内中心に２２店舗　１５日まで」

【法人運営（管理）事業】

１．機関会議の運営

（１）理事会の開催

定例理事会を 4 回開催した。

第 1 回理事会（2013 年 5 月 14 日 15 時~17 時 30 分　ホテルメイプルイン幕張）
2012 年度事業報告及び決算案、2013 年度事業計画及び予算等

第 2 回理事会（2013 年 9 月 3 日 15 時～17 時 30 分　ホテルメイプルイン幕張）
理事会運営規則、個人情報保護規程、冠ファンド設置等

第 3 回理事会（2013 年 12 月 10 日 15 時~18 時 15 分　ホテルメイプルイン幕張）
事業指定助成プログラム第 2 期、テーマ型基金設置等

第 4 回理事会（2014 年 3 月 28 日 15 時～17 時 10 分　生活クラブ生協千葉本部）
2014 年度事業計画及び予算、評議員会開催等

（２）評議員会の開催

評議員会を 1 回開催した。

第 1 回評議員会（2013 年 6 月 11 日 18 時 25 分～20 時 15 分　千葉市ビジネス支援センター）
2012 年度決算書類決議、評議員会運営規則設置等

（３）監査の実施

・監事が全 4 回の理事会にいずれも出席し、業務監査を実施した。

・2013 年 5 月 14 日に年度末の監査を実施し、監査報告書を作成した。

２．寄付者等の情報管理（Donor Relationship Management）

個人情報保護規定等に従い、寄付者等財団支援者の情報管理を徹底するとともに、DM 等で寄付者への事業・成果報告、コミュニケーションを円滑に行えるよう、データベースの適切な管理と活用を行った。

データの管理については、クラウド型顧客管理アプリケーション・セールスフォース（非営利組織版・無償）を導入した。これは、セールスフォース・ドットコムファンデーション（セールスフォースの社会貢献活動）が一定の基準を満たす非営利団体に対して基本パックを寄贈するもので、名簿管理、イベントなどの参加履歴の管理、案内メールの一括配信、寄付金管理、助成金管理など一括して顧客管理ができる。カスタマイズに関して、運用可能になるまでかなりの時間とスキルを必要とすることから、京都地域創造基金から市民コミュニティ財団用パッケージとして支援を受けた。

３．ウェブサイト管理

事業の進捗に合わせ、情報を追加、更新した。寄付募集情報、助成実績、メディア掲載情報などを掲載した。

４．財団運営事務と管理体制整備

・事務局業務は専従１名、ボランティア（会計）１名体制で行った。
・事務局スタッフの募集を行い、１名の応募があったが採用には至らなかった。
・運営に最低限必要な諸規程、規則の作成を行った。
・6 月に「税額控除に係る証明申請」を行い、7 月 4 日付で証明を受けた。
・公益法人の会計実務を円滑に行うため、公益財団法人公益法人協会主催の「会計セミナー・決算編」に参加した（志村）。

以上